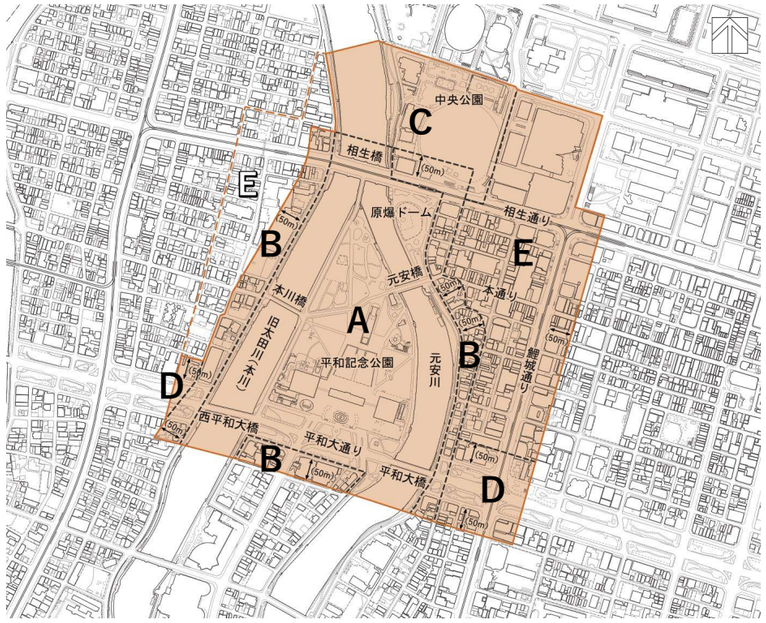
# 01　原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区

資料５

## 1　対象エリア

景観計画重点地区である原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区を基本に、特定都市再生緊急整備地域と重複しない西側のＥ地区を除いた区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

**Ａ地区**
（平和記念公園地区）
**Ｂ地区**
（バッファゾーン地区）
**Ｃ地区**
（原爆ドーム背景地区）

世界遺産である原爆ドームとそのバッファゾーン及び背景に位置する地区として、昼間と同様に市民や国内外から訪れる人々が平和を祈り、平和を考え、安らぎ、くつろぐことができるよう、安心して散策・滞留できる環境の整備や**慰霊と鎮魂の場としてふさわしい厳かな雰囲気を演出する夜間景観の形成**を図ります。

また、平和都市広島を象徴する景観である南北軸線上の眺望景観と平和の灯を夜間も意識できるような照明演出に取り組みます。

**Ｄ地区**
（平和大通り沿道地区）

平和大通りについては、平和記念公園の南北軸と直交する緑の都市軸を形成する**平和都市広島を代表するシンボルロード**として、夜間においても心安らぐ穏やかな雰囲気の中で、**思わず歩きたくなるような魅力**と**人々が憩い、交流が生まれる夜間景観の形成**を図ります。

**Ｅ地区**
（周辺市街地地区）

にぎわいや楽しさを演出しつつ、都心の目抜き通りを中心とした商業・業務地区にふさわしい街並み景観の形成を図る地区である一方、平和記念公園や平和大通りからの眺望に配慮する必要があることから、平和記念公園や平和大通りから見える部分については、慰霊と鎮魂の厳かな雰囲気に影響を及ぼすおそれのある光を発しないなど、**平和記念公園や平和大通りからの眺望に配慮した夜間景観の形成**を図ります。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。










**厳かな雰囲気の創出**

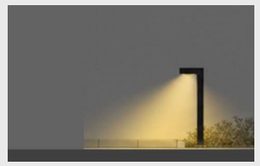
**被爆遺構が眠る地面を照らす**

被爆遺構が眠る地面に対する間接照明により、厳かなあかりの雰囲気を演出します。
スポットライトポールで高い位置から光を当てることにより、照明器具は樹木に隠れて日中も目立ちません。



**眺めの主対象を意識する**

足元のみを照らす下方配光の低ポール灯（間接照明タイプ）は、見上げた際の視界に入らないため、ランドマーク周辺のあかりづくりに適しています。






**景観魅力資源を照らす**

景観魅力資源は暗闇に埋もれてしまわないよう、意識的に光を当ててあげると夜間もその価値を感じることができます。
既存ポールが無くても樹木の枝に取り付ける小さなスポットライトにより、石碑や彫刻を照らす手法もあります。



このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。




## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

| | |
|---|---|
| **A地区**（平和記念公園地区） | ・慰霊と鎮魂の場にふさわしく、厳かで落ち着きのある雰囲気を創出するため、間接照明を基本とし、装飾過多な照明演出等は控えます。<br>・夜間においても南北の軸線を意識できる照明計画とし、その他の照明は軸線を照らす照明や平和の灯の発するあかりを尊重するものとします。<br>・原爆ドームや河川沿いの樹木のライトアップについては、水面への映り込みを意識し、広島の特性を生かした唯一無二の夜間景観の創出を図ります。 |
| **B地区**（バッファゾーン地区） | ・平和記念公園の厳かな雰囲気との連続性を意識した落ち着きのある照明計画とし、道路沿いの低層部については、漏れ光の演出等により歩行者空間の快適性の向上に努めます。<br>・平和記念公園から見える部分については装飾過多な照明演出等は控えるなど、平和記念公園の厳かな雰囲気に配慮します。<br>・原爆ドームより北側の南北軸線上においては、軸線を意識した照明計画に努めます。 |
| **C地区**（原爆ドーム背景地区） | ・平和記念公園の厳かな雰囲気との連続性を意識しつつ、落ち着きのある雰囲気と都市的にぎわいとのバランスがとれた照明計画とします。<br>・平和記念公園から見える部分については、厳かな雰囲気に配慮し、装飾過多な照明演出等は控えます。<br>・原爆ドームより北側の南北軸線上においては、軸線を意識した照明計画とします。 |
| **D地区**（平和大通り沿道地区） | ・夜間も安心して散策できる、おもてなしの心あふれる質の高いシンボルロードの夜間景観を創出するため、路面間接照明と低ポール灯による照明演出と並木を生かした美しいライトアップに取り組みます。 |
| **E地区**（周辺市街地地区） | ・活力と交流を生み出す都会的な雰囲気を創出しながらも、平和記念公園から見える部分については装飾加多な演出等は控えるなど、平和記念公園の厳かな雰囲気に配慮します。 |

### （2）要素別事項

**色温度**

**A～D地区**
- 2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）
- 原爆ドームを照らす照明の色温度は、2,700Ｋ程度を基本とする。（特定日等は際立たせることもできるよう調色機能を設ける。）

**E地区**
- 2,700～3,500Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）

**グレア対策**

**A～E地区共通**
- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**

**A～E地区共通**
- 装飾過多にならない範囲で建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**

**A～E地区共通**
- 平和記念公園や平和大通りから見える部分では使用しない。（一時的なイベント等を除く。）
- その他の部分で使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。

**映像装置**

**A～E地区共通**
- 平和記念公園や平和大通りから見える部分では使用しない。
- その他の部分で使用する場合、夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

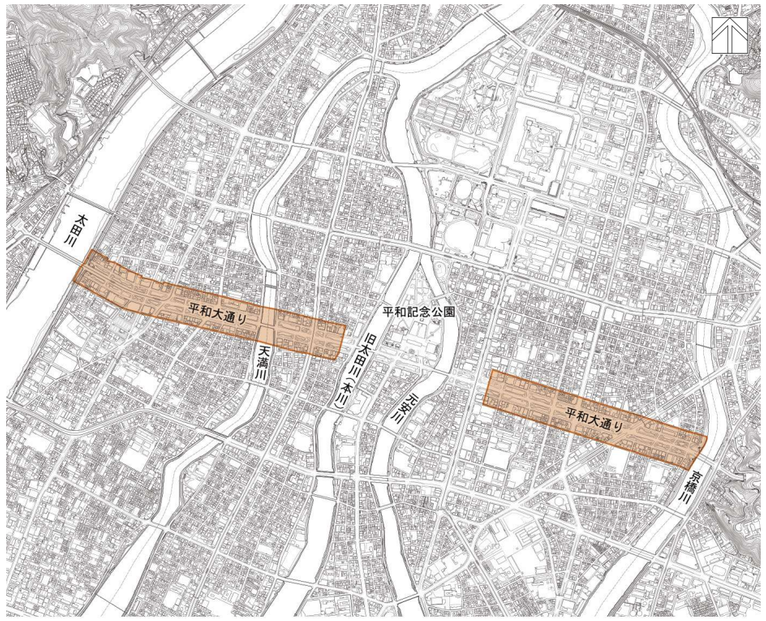
**資源の活用**

**A～E地区共通**
- 景観魅力資源（雁木や石碑、説明板等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

資料５

## 1　対象エリア

景観計画重点地区である平和大通り沿道地区と同一の区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

平和大通りについては、平和記念公園の南北軸と直交する緑の都市軸を形成する**平和都市広島を代表するシンボルロード**として、夜間においても心安らぐ穏やかな雰囲気の中で、**思わず歩きたくなるような魅力**と**人々が憩い、交流が生まれる夜間景観の形成**を図ります。

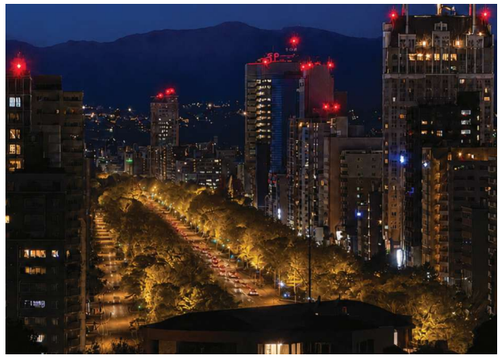
## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。









**憩いの空間の創出**

スポットライトポールは、心地よい陰影をつくることができます。
居心地のよい明るさがあれば、夕刻にも憩い、滞在したくなる効果が生まれます。



**並木のライトアップ**

高木のライトアップは、なるべく幹の根本から真上に向かって照らします。
植物の生育影響に十分配慮し、点灯時間管理を行うなど、実施に当たっては十分な検討が必要です。（樹種等によってはライトアップを控えた方がいい場合もあります。）



## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

夜間も安心して散策できる、おもてなしの心あふれる質の高いシンボルロードの夜間景観を創出するため、路面間接照明と低ポール灯による照明演出と並木を生かした美しいライトアップに取り組みます。

### （2）要素別事項

**色温度**

- 2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）

**グレア対策**

- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**

- 装飾過多にならない範囲で建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**

- 平和大通りから見える部分では使用しない。（一時的なイベント等を除く。）
- その他の部分で使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。

**映像装置**

- 平和大通りから見える部分では使用しない。
- その他の部分で使用する場合、夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

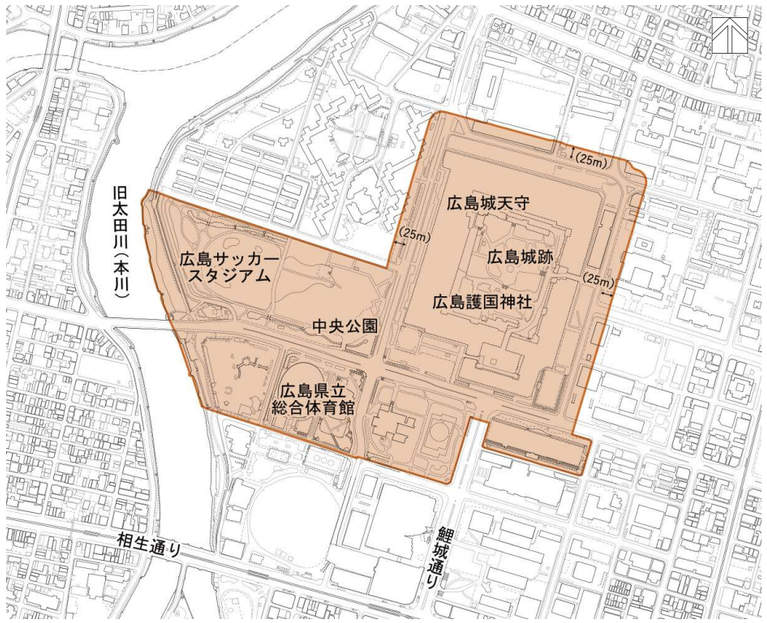
**資源の活用**

- 景観魅力資源（橋梁や石碑等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

資料５

## 1　対象エリア

広島城跡の周縁道路から２５m以内及び中央公園の範囲を区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

広島城及び広島城跡の歴史あるたたずまいを夜も感じ、都心に立地する緑あふれる憩いの空間を生かした**歴史と文化を感じる趣のある夜間景観の形成**を図ります。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。







**趣のあるあかりの演出**

和風デザインの照明器具は、歴史を感じる趣のあるあかりの雰囲気をつくることができます。
和風行灯型の低位置照明により空間全体の雰囲気を演出します。



**石垣を美しく魅せる演出**

高い石垣は真下からライトアップします。
堀を挟んだ石垣は、対岸から楕円配光の投光器で照射します。





## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （１）基本事項

史跡外周部も含めて歴史と文化を感じる趣のある雰囲気を創出するため、広島城天守等のライトアップに加えて、和風行灯照明などによる効果的な演出をエリア全体で取り組みます。

### （２）要素別事項

**色温度**

- 2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）
- 広島城を照らす照明の色温度は、4,000Ｋ程度を基本とする。（特定日等はカラー演出も検討する。）

**グレア対策**

- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**

- 建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**

- 広島城への眺望に影響する部分では使用しない。（一時的なイベント等を除く。）
- その他の部分で使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。

**映像装置**

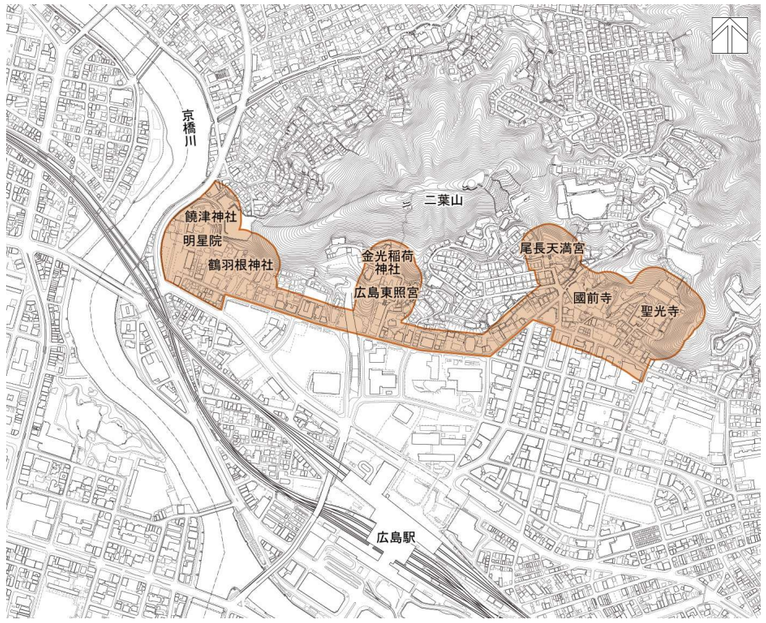
- 広島城への眺望に影響する部分では使用しない。
- その他の部分で使用する場合、夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

**資源の活用**

- 景観魅力資源（石垣や石碑等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

## 1　対象エリア

景観計画重点地区である広島東照宮・國前寺周辺地区と同一の区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

二葉の里歴史の散歩道によりつながる神社仏閣が醸し出す情緒あるたたずまいを夜も感じ、周辺の住宅地における**落ち着いた雰囲気と調和した趣のある夜間景観の形成**を図ります。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。










## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

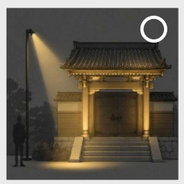
### （1）基本事項

周辺の住宅地に配慮しながら、神社・仏閣の歴史的な景観魅力資源を生かしたライトアップを行うとともに、それらをつなぐ歴史の散歩道沿いは和風行灯照明などで趣のある雰囲気を演出します。

**神社・仏閣の美しさを阻害しない照明**



ポール照明が拡散光の場合、視野にグレアも感じられ、建物のライトアップ演出等の効果を阻害する場合があります。



スポットライト型のポール照明であれば、建物への影響はほとんどありません。角度を調節できるため、階段や道路などの明るさも確保できます。



低位置照明であれば、建物側への影響はほとんどなくなります。配置をよく考えて、歩行者のための明るさを確保します。

### （2）要素別事項

**色温度**

- 2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）
- 神社仏閣を照らす照明の色温度は、白漆喰仕上げの場合は3,500Ｋ程度、板張り仕上げ・朱塗り仕上げの場合は3,000Ｋ程度を基本とする。

**グレア対策**

- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**

- 建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**

- 使用しない。（一時的なイベント等を除く。）
- イベント等で使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。

**映像装置**

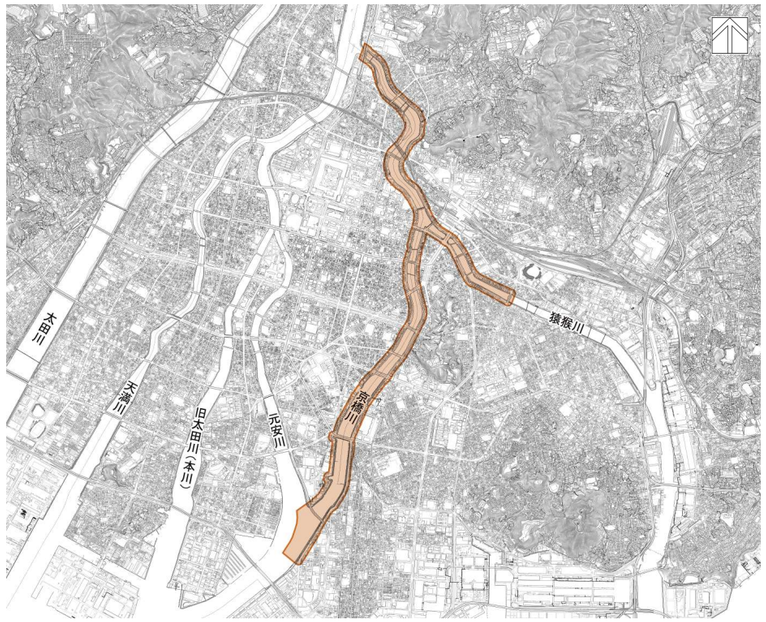
- 夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

**資源の活用**

- 景観魅力資源（神社仏閣や石碑等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

## 1　対象エリア

京橋川及び猿猴川の河川境界から５０m以内の区域（主な河川又は港湾に面する部分と同一の区域）、延長は都市計画決定及び整備済みの河岸緑地までとします。













## 2　夜間景観形成方針

広島駅周辺を流れる京橋川及び猿猴川のリバーフロントについては、夜間においても安心して憩い、活動できる居心地の良い水辺空間を創出し、「水の都ひろしま」にふさわしい、**潤いと安らぎ、さらにはおもてなしの心を感じる優美な夜間景観の形成**を図ります。

## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

河川、対岸及び橋上から見える部分については、潤いと安らぎを感じる優美な雰囲気を創出するため、河川沿いの樹木や建築物等壁面のライトアップや漏れ光などは水面への映り込みを意識し、落ち着きのある上品なあかりづくりに取り組みます。

### （2）要素別事項

| 色温度 | グレア対策 | 鉛直面の明るさ | 点滅・色変化・演出 | 映像装置 | 資源の活用 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。） | ・不必要な範囲に光を照射しない。 | ・建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。 | ・河川及び対岸から見える部分では使用しない。（一時的なイベント等を除く。）<br>・その他の部分で使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。 | ・河川及び対岸から見える部分では使用しない。<br>・その他の部分で使用する場合、夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。 | ・景観魅力資源（橋梁や雁木、石碑等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。<br>・資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。 |

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。







**水辺特有の美しい夜間景観**

河川沿いの並木を照らすことで、水面に木々が映り込み、美しい「水鏡」が出現します。
水と緑の都市を象徴する夜間景観となります。



**今ある資源を生かす演出**

手すり間接照明は、足元に柔らかな明るさを確保し、橋上の安全・安心を高めます。

橋梁そのものが持つ構造美を生かしたライトアップにより、「水の都ひろしま」を象徴する夜のランドマークになり得ます。

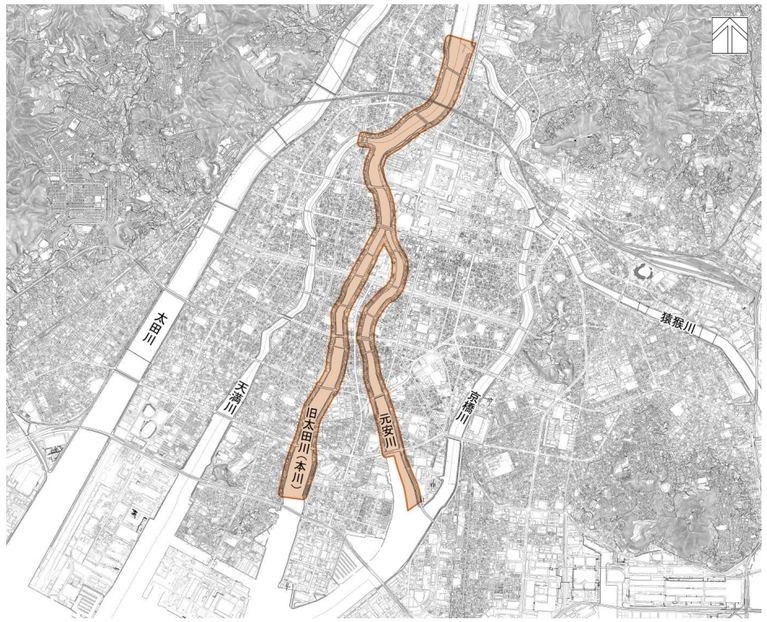


# 06　旧太田川系リバーフロント地区

資料５

## 1　対象エリア

旧太田川及び元安川の河川境界から５０m以内の区域（主な河川又は港湾に面する部分と同一の区域）、延長は都市計画決定及び整備済みの河岸緑地までとします。













## 2　夜間景観形成方針

平和記念公園周辺を流れる旧太田川及び元安川のリバーフロントについては、厳かな雰囲気を感じながら夜間安心して憩い、佇むことができる居心地の良い水辺空間を創出し、「水の都ひろしま」にふさわしい、**潤いと安らぎを感じる優美な夜間景観の形成**を図ります。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。







**基町環境護岸の魅力を生かす演出**

護岸の芝生広場の明るさは、遊歩道のスポットライトポールによって確保することができます。



**親水歩道の魅力を生かす演出**

河川内の遊歩道は、護岸上部に設置したスポットライトポールなどで明るさを確保します。

河川の連続性を演出し、夜間においても水辺の魅力を高めます。



## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

河川、対岸及び橋上から見える部分については、潤いと安らぎを感じる優美な雰囲気を創出するため、河川沿いの樹木や建築物等壁面のライトアップや漏れ光などは水面への映り込みを意識し、落ち着きのある上品なあかりづくりに取り組みます。

### （2）要素別事項

**色温度**

- 2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）

**グレア対策**

- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**

- 建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**

- 河川及び対岸から見える部分では使用しない。（一時的なイベント等を除く。）
- その他の部分で使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。

**映像装置**

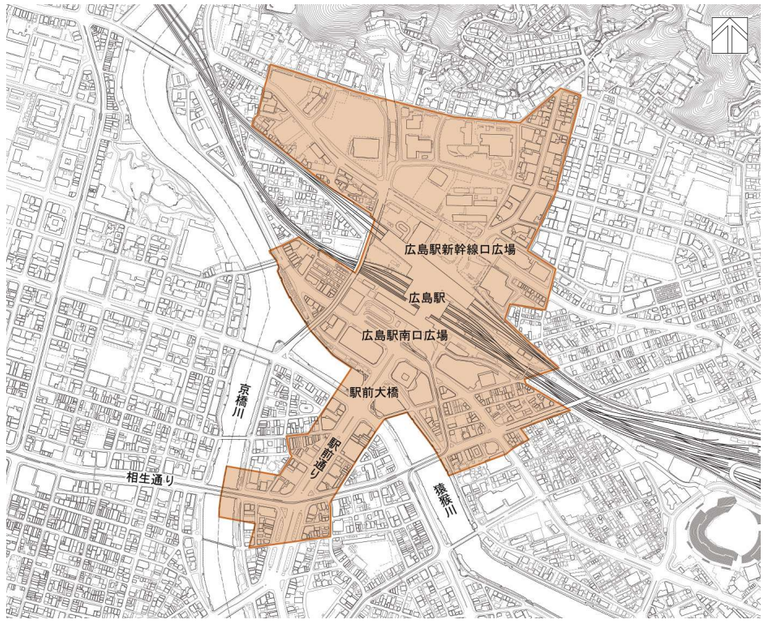
- 河川及び対岸から見える部分では使用しない。
- その他の部分で使用する場合、夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

**資源の活用**

- 景観魅力資源（橋梁や雁木、石碑等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

## 1　対象エリア

景観計画重点地区である広島駅新幹線口地区、広島駅南口地区及び都心幹線道沿道地区（駅前通り、相生通りの一部）を基本に、特定都市再生緊急整備地域を考慮した区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

生まれ変わる広島駅を中心に強化される都市機能と調和を図りながら、本市の陸の玄関にふさわしい風格ある**にぎわいを演出し、活力が溢れ、交流を生み出す夜間景観の形成**を図ります。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。

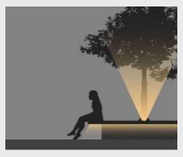






**広場における居心地の良い空間の創出**

樹木やファニチャーに間接照明を入れることで、既存照明柱などが無くても安心感のあるポケットパークなどを作ることができます。



**都会的な夜景の創出**

高層建築物等の頂部をライトアップすることにより良好な都会の夜景を形成することができます。

また、建物低層部の店舗等では、夜間の人通りに留意し、通りに面してなるべくあかりが漏れるようにすると、にぎわいや安心感の創出につながります。



## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

- 活力と交流を生み出す都会的な雰囲気を創出するため、幹線道路沿道は路線それぞれの特性に応じて統一した照明環境に整えるとともに、公園や広場等の公共空間は夜も安心した利活用につながる効果的な照明演出に取り組みます。
- 場所ごとに異なる個性を尊重し、特色を生かした魅力ある照明演出に努めます。

### （2）要素別事項

**色温度**
- 2,700～3,500Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）

**グレア対策**
- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**
- 建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

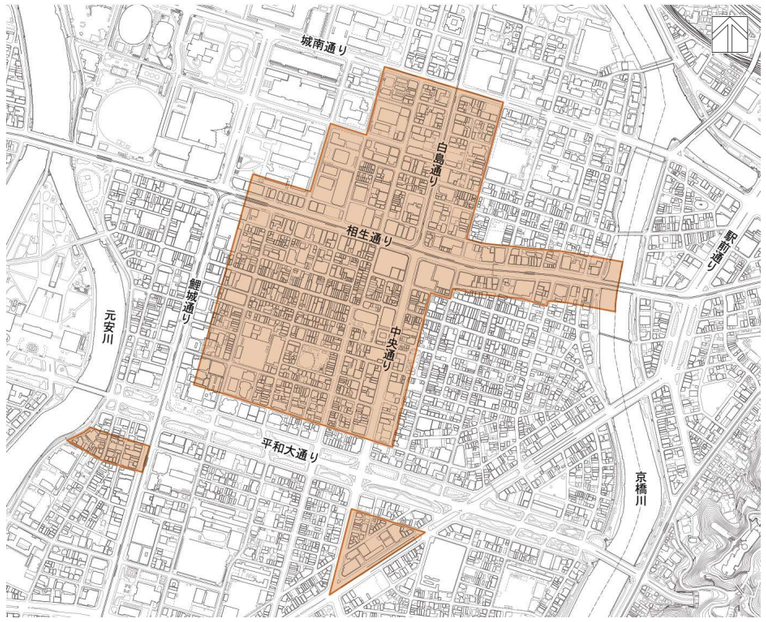
**点滅・色変化・演出**
- 使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。
- 高層建築物等は、都市夜景のスカイラインを形成するため、建物頂部のライトアップに努める。

**映像装置**
- 夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

**資源の活用**
- 景観魅力資源（意匠性の高い建築物等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

## 1　対象エリア

景観景観計画重点地区である都心幹線道沿道地区（相生通り、中央通り、白島通り）と一般区域である都心商店街地区を基本に、特定都市再生緊急整備地域を考慮した区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

広島の陸の玄関である広島駅周辺地区とともに相互に刺激し高め合う都心の西の核として、相生通りや中央通りなどの都心幹線道路に加え、本通りや並木通り、うらぶくろ商店街などの商店街それぞれの**特色を生かした活気に溢れるお洒落で心ときめく夜間景観の形成**を図ります。

## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

- 活力と交流を生み出す都会的な雰囲気を創出するため、幹線道路沿道は路線それぞれの特性に応じて統一した照明環境に整えるとともに、公園や広場等の公共空間は夜も安心した利活用につながる効果的な照明演出に取り組みます。
- 場所ごとに異なる個性を尊重し、特色を生かした魅力ある照明演出に努めます。

### （2）要素別事項

**色温度**
- 2,700～3,500Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）

**グレア対策**
- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**
- 建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**
- 使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。
- 高層建築物等は、都市夜景のスカイラインを形成するため、建物頂部のライトアップに努める。

**映像装置**
- 夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

**資源の活用**
- 景観魅力資源（意匠性の高い建築物等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。







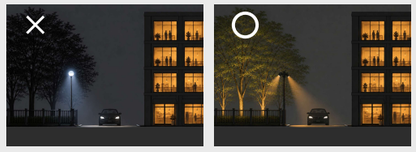






**まちの雰囲気を尊重した公共照明**

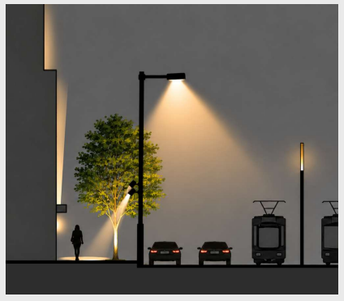
街路灯や公園照明は、商業施設からの漏れ光と調和する色温度にし、雰囲気の統一と安心感の創出を図ります。




**快適な道路空間の照明演出**

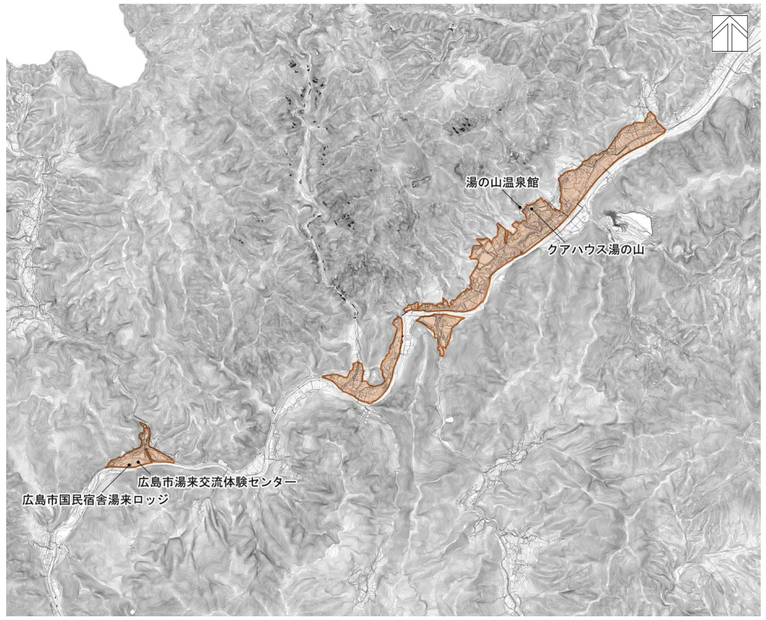
車道照明はグレアを生じさせにくい下方配光の照明に、歩道照明はスポットライト等の路面を適切に照らすヒューマンスケールを意識した照明が適しています。

道路照明の照射範囲を必要十分な範囲に整えることができると、沿道建築物のライトアップによる効果が高まり、エリア全体の魅力的な夜間景観を形成することができます。



## 1　対象エリア

広島湯来準都市計画区域のうち、湯来温泉及び湯の山温泉が位置する区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

恵まれた豊かな自然環境の保全を図るとともに、新たな交流施設や自然を生かした歴史ある温泉地としての**おもてなしの雰囲気を感じ、そぞろ歩きを楽しめる夜間景観の形成**を図ります。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。










**川沿いをそぞろ歩きしたくなる温泉地のあかり**

川を中心とした温泉街らしい夜間景観を形成する上で、橋梁は手すり間接照明と橋脚のライトアップを組み合わせると効果的です。
雪洞照明や桜のライトアップなども温泉街らしさを醸し出します。
ホタルの時期には河川内は消灯することが望ましいです。



## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

歴史ある温泉地特有の魅力ある雰囲気を創出するため、雪洞照明や橋梁照明等を効果的に活用して陰影のバランスを整えるなど、美しく幻想的な照明演出に取り組みます。また、豊かな自然環境に配慮し、選定器具の配光や積極的な点灯時間管理（オペレーション）に留意します。

### （2）要素別事項

**色温度**
- 2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）

**グレア対策**
- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**
- 建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**
- 使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。

**映像装置**
- 夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

**資源の活用**
- 景観魅力資源（橋梁や神社等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。

## 1　対象エリア

似島全土を区域とします。













## 2　夜間景観形成方針

夜も安心できる住環境の向上や観光交流施設の更なる魅力向上に加え、島しょ部における海岸線の美しさを夜も感じることができる景観を演出するなど、**瀬戸内海の多島美が広がる広島ならではの自然を生かした夜間景観の形成**を図ります。

## 3　整備誘導イメージ

このイメージは、夜間景観形成方針に基づき改善されるイメージを示したもので、この地区の将来的な理想像を示すものではありません。















島の外周にある道路を利用した道路照明のスポットライトにより、海岸線の自然の様子を映し出し、似島ならではの魅力的な夜間景観の創出を図ります。

## 4　整備誘導イメージを実現するための夜間景観形成指針

### （1）基本事項

島しょ部特有の美しさを夜も感じることができるよう、海岸線を意識した照明演出に取り組みます。また、豊かな自然環境に配慮し、選定器具の配光や積極的な点灯時間管理（オペレーション）に留意します。

### （2）要素別事項

**色温度**
- 2,700～3,000Ｋ程度を基調とする。（用途上やむを得ないもの等はこの限りではない。）

**グレア対策**
- 不必要な範囲に光を照射しない。

**鉛直面の明るさ**
- 建築物の壁面や敷地内の樹木等の鉛直面をライトアップするなど、暗がりの払拭に努める。

**点滅・色変化・演出**
- 使用する場合は、周辺環境への影響に配慮する。

**映像装置**
- 夜間は画面輝度を抑えるなど、周辺環境への影響に配慮する。

**資源の活用**
- 景観魅力資源（護岸や神社等）は意識的にライトアップするなど、既にある資源の活用に努める。
- 資源を照らす照明は、基調となる色温度に合わせる。